政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 柳川範之：東京大学大学院経済学研究科教授

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	消費や投資は足元の景気だけではなく、将来に渡る経済動向に関する予想に大きく依存する。特に将来のリスクが大きかったり不透明性が高いと、足元の景気が比較的良くても、なかなか大がかりな設備投資ができなかったり、消費を増やしたりすることが難しくなる。そのため、将来に関する政策的なプランやコミットメントをより明確にすることが重要と考えられる。もちろん、将来を政府がすべてコントロールすることはできないし、予想外のことも多く起こりいる。しかし、危機等が生じた際にどのような対処をするのか、予想外の問題が生じた場合でもどこまで政府の中長期戦略が実行可能か等、将来に安心感を与えるような政策対応が重要になってくると思われる。たとえば、金融政策における時間軸政策に対応するような政策を考えていくことも有効と思われる。
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	